菊池 祐

つい先日、着任の挨拶をしたばかりと思っていたのですが。早いもので協 力隊として最後の挨拶をしなければならない時期となってしまいました。

皆さんこんにちは。窪川地域担当の石井です!初めて四万十町に来た時か ら、キラキラと光る四万十川の風景に惚れ込み、ここで仕事がしたい!と 思っていたので、それを実現しながら過ごすことのできた3年間は、私に とって東京に帰りたいと思う暇がないほど充実した時間でした。

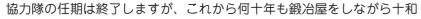


主に奥四万十博を中心とした情報発信や、イベントの企画運営に参加することなどを中心に活動し、今 後とも観光振興に関わっていく足場づくりが必要と思っています。まだまだ道半ばの部分もありますの で、引き続きがんばって行くつもりです。

改めまして、これまで私に関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。色々とご迷惑 をおかけしたこともあったかと思いますが、また今後ともよろしくお願いします!

鍛冶屋の技術を受け継ぐことを任務として活動してきましたが、協力隊 として大事なもうひとつの任務は地域振興です。

この3年間で、できたことと言えば、十和地区民運動会の復活に参加し たくらいです。自分としてはもっとやれること、やらなければいけないこ とがたくさんあったのではないかと考えます。



地区の住民として生活をしていきます。任期中に不足と感じていた地域振興については、鍛冶屋とし て自立することと、現在行っている交通安全指導員など、地域の役割を通して貢献したいと考えてい

これからが本当のスタートとなります。楽しいことよりも厳しいことばかりだと思います。皆さま のお力をお借りしなければならないことも多々あり、ご迷惑をお掛けいたしますが、引き続きご指導 ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



## 域おごし協力隊

皆さん、こんにちは。四万十町では現在24人の地域おこし協力隊員が活動しています。 今回は、地域おこし協力隊を卒業する鈴木、井原、石井、菊池の挨拶です。



こんにちは、窪川地区担当の鈴木です。家族と共に四万十町に引っ越してき た時の、期待とほんの少しの不安が入り混ざったような、あの何とも言えない 高揚感を今でも昨日のように覚えています。あの時から3年の月日が駆け足で 過ぎ、この春協力隊としての任務を満了し卒業することとなりました。

自分を含め我々家族は町内の色々な方に助けられ、お世話になり、声をか けていただいた、本当に恵まれた3年間だったと実感しております。家族を

引き連れてのゼロからのスタートは正直不安もありましたが、良き仲間に囲まれ楽しみながら過ごせたの 鈴木 信太郎 も「協力隊」という制度のもとだったからこそだと思っています。

農業という分野で色々なことにチャレンジしたいという当初の目標は、少しずつではありますが形になり 始め、昨年より町内外の店舗に野菜を出荷できるようになりました。今年は引き続き野菜作りを行っていく と共に、4月よりご縁のありました農業法人さんでお世話になることも決まりました。生活の大半を農業と 共に過ごせる環境が形となりつつあり、また新たな舟をこぎ出せるという環境に楽しみしかありません!

最後に、こんな未熟者を温かい目で見守ってくださった皆さまにこの場を借りて御礼を申し上げますと 共に、これからは四万十町民として少しずつ恩返しができたらと考えております。3年間本当にありがと うございました!



四万十町の皆さん、3年間大変お世話になりました。この春で四万十町を離 れるようになりましたが、たびたびこちらに来ていると思いますので、今後 とも変わらない関係をよろしくお願いいたします。協力隊の活動の面では自 分の甘い部分や至らない部分が数多くあり、評価できる結果も残せませんで した。日頃は、活動で関わる十和おかみさん市をはじめ、地域の方々に公私

共にお世話になりっぱなしでしたが、とにかく楽しい毎日でした。私の住む 十和地区はどこにでもありそうなコンビニや娯楽施設のない地域でしたが、どこにでもあるものではない ものがたくさんありました。大道地区にある味噌漬豆腐や昔野菜、勝秀鍛冶屋さんの作る渾身の鉈や、お ばちゃん達が作る美味しい野菜や料理など。目に見えるものはもちろん、代々引き継がれてきた技術やお 祭り、地域への愛着など、そうしたすべてが積み重なって、ずっと住み続けたいなと思える地域です。「昔 の村民運動会」や、「鯉のぼりがこっち向きに泳いだら明日は晴れるがで」といったことを自慢そうに話す おんちゃんといる時間が心地よかったです。鮎の漁が解禁された途端、橋から川をのぞき込む人が増える 光景も自分まで楽しくなってくるものの1つでした。「これがいい!|と一言で言えるのではない、大好

しそうに料理を作るおばちゃん達の中で、自分がこの歳になっても同世代でこのようにワイワイ言いなが ら楽しく暮らしていきたいと強く思いました。3年後先の自分すらまだまだ見えない未熟者ですが「いつか 十和に戻ってきて死ぬまで暮らしたい」そう願っています。3年間、活動や暮らしをサポートしてくださっ た皆さんに心から感謝しています。ありがとうございました。卒業後もよろしくお願いいたします。

きな部分が数多くあります。なにより十和の人から伝わる「十和への誇り」がかっこよくて好きです。楽

















